Form No. 3427-212 Rev A

アウトフロントブラシキット

Greensmaster® 800/1000/Flex™ 18/21/Flex™ 1800/2100/eFlex® 1800/2100 芝刈り機用

モデル番号04266

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
左ブラシブラケット	1	ブラシブラケットを取り付けますグリーンズマスターフレックスモデル
右ブラシブラケット	1	
フランジヘッドボルト⅜ x 1"	2	
ボルトM10 x 30 mm)	2	
レベル調整ねじ	2	
ジャムナット (5/16")	2	
ロックナット (5/16")	2	
ブラシスプリング	2	
ブラシロッド	2	
ボルトM6 x 40 mm)	4	
スペーサ	4	
ロックナット (M6)	4	
左ブラシブラケット	1	ブラシブラケットを取り付けるグリーンズマスター800/1000/2000 モデルのみ
右ブラシブラケット	1	
ボルト全体にねじ山がついている5/16 x 1½"	4	
ロックナット5/16"	4	
レベル調整ねじ	2	
ジャムナット (5/16")	2	
ロックナット (5/16")	2	
ブラシスプリング	2	
ブラシロッド	2	
ボルトM6 x 40 mm)	4	
スペーサ	4	
ロックナット (M6)	4	
ブラシ	1	ブラシブラケットを取り付ける
ブラシタブ	2	
ボルトM8 x 60 mm)	4	
ワッシャ	4	
ロックナット (M8)	4	
フランジヘッドボルトM6 x 20 mm	4	
フランジナット (M6)	4	

© 2018—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)

Printed in the USA

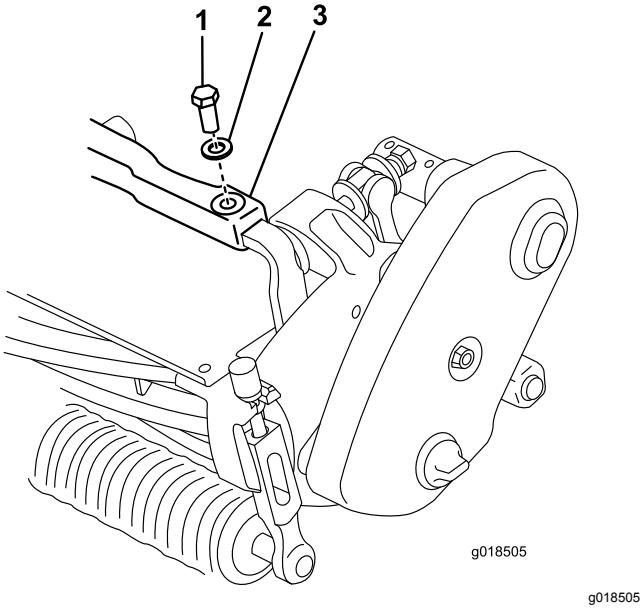
禁無断転載

3427-212 A

ブラシブラケットを取り付ける

グリーンズマスターフレックスモデル

1. 平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、キーがある機種ではキーを抜き取り、バッテリーの接続を外してマシンを完全停止状態にする。
2. 前フレームをカッティングユニットのタブに固定しているボルトとワッシャを外す図 1。

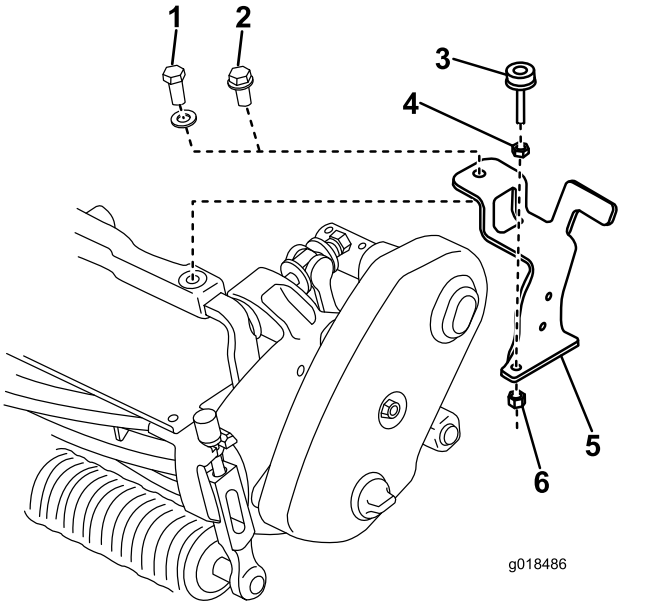


g018505

図 1

1. ボルト
2. ワッシャ
3. 前フレーム

3. 以下の手順で、左ブラシブラケットを前フレームとタブに取り付ける
   - フレックス 1800/2100 モデルでは、図 2のように、フランジヘッドボルト⅜ x 1"でブラシブラケットを前フレームとタブに取り付ける。
   - フレックス 18/21 モデルでは、新しいボルトM10 x 30mm1本と先ほど取り外したワッシャを使って、ブラケットを前フレームとタブに取り付ける図 2。



g018486

図 2

1. ボルトとワッシャフレックス 18/21 モデル
2. フランジヘッドボルトフレックス 1800/2100 モデル
3. レベル調整ねじ
4. ジャムナット (5/16")
5. ブラシブラケット
6. ロックナット5/16"

注 ブラケットは底面の穴が前側にくるようにします。ブラケットが前フレームの端部とタブにフィットするのが正常です。

4. レベル調整ねじをブラシブラケットに仮止めするジャムナット5/16"1本とロックナット5/16"を使用して、図 2のように取り付ける。
5. ブラシブラケットに、ブラシスプリングとブラシロッドを取り付けるボルト2本M6 x 40 mm、スペーサ、ロックナットM6を使用して図 3のように取り付ける。

注 ブラシスプリングの盛り上がった側が外側になるように取り付けてください。ブラシを上にセット収納位置にセットした時に、ブラシの軸がブラシスプリングの中央に位置するようにセットしてください。

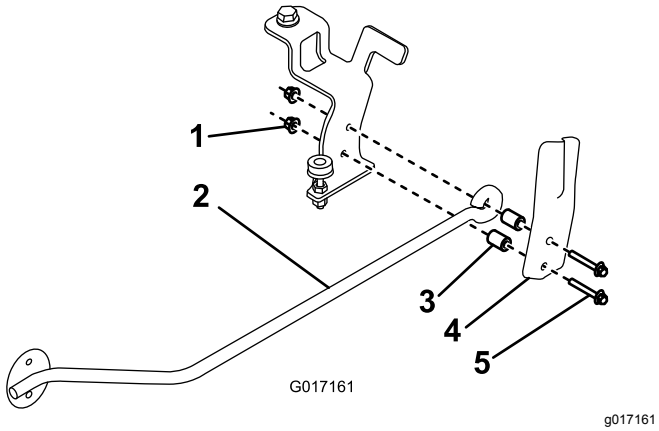


図 3

1. ロックナットM6
2. ブラシロッド
3. スペーサ
4. ブラシスプリング
5. ボルト (M6 x 40 mm)

6. 機体の反対側についても同じ作業を行う。

   注 ロックナットは余分が出ます。

ブラシブラケットを取り付ける

グリーンズマスター 800/1000/2000 モデルのみに適用

1. 平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、キーがある機種ではキーを抜き取ってマシンを完全停止状態にする。
2. 集草バスケット取り付けロッドを左サイドプレートに固定しているボルト2本とワッシャを外す図 4。外したボルトは廃棄、ワッシャは再利用する。

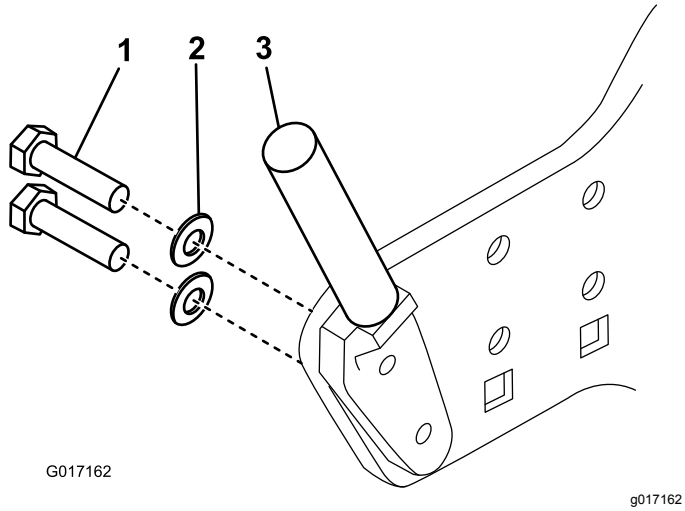


図 4

1. ボルト
2. ワッシャ
3. 集草バスケット取り付けロッド

3. 集草バスケット取り付けロッドを左サイドプレートに取り付ける新しい全ねじボルト5/16 x 1-1/2"2本と、先ほど取り外したワッシャ2枚を使用する図 5。
4. 左ブラシブラケットをボルトに取り付け、ロックナット5/16"2 本で図 5のように固定する。

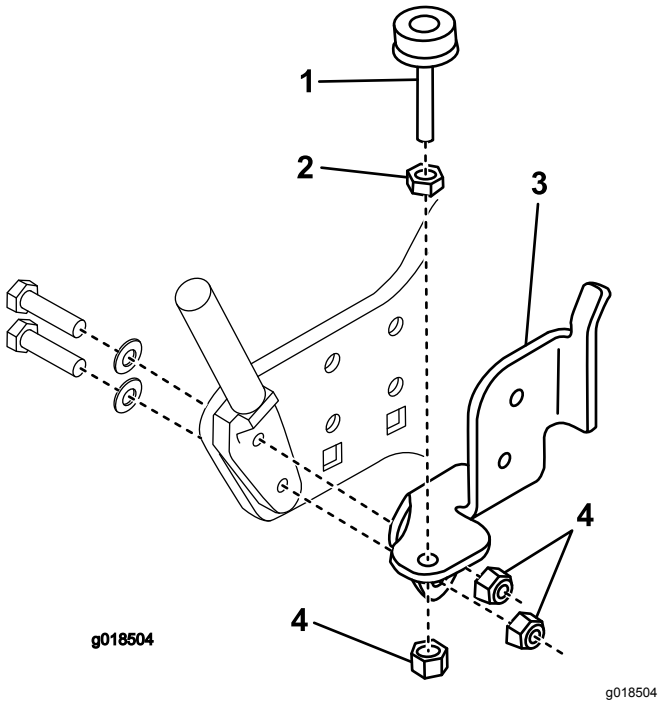


図 5

1. レベル調整ねじ
2. ジャムナット
3. ブラシブラケット
4. ロックナット5/16"

注 ブラケットは底面の穴が前側にくるようにします。

5. レベル調整ねじをブラシブラケットに仮止めするジャムナット5/16"1本とロックナット5/16"を使用して、図 5のように取り付ける。
6. ブラシブラケットに、ブラシスプリングとブラシロッドを取り付けるボルトM6 x 40 mm2 本、スペーサ、ロックナットM6を使用して図 6のように取り付ける。

   注 ブラシスプリングの盛り上がった側が外側になるように取り付けてください。ブラシを上にセット収納位置にセットした時に、ブラシの軸がブラシスプリングの中央に位置するようにセットしてください。

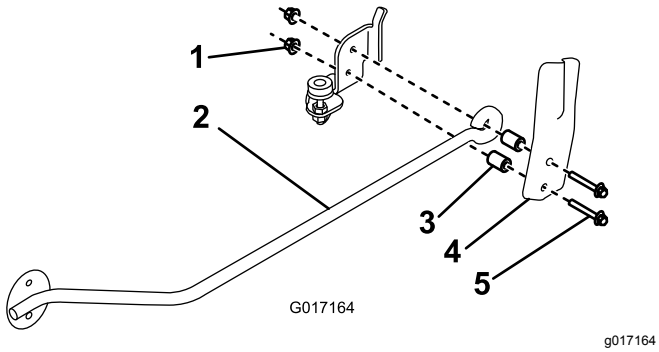


図 6

1. ロックナット
2. ブラシロッド
3. スペーサ
4. ブラシスプリング
5. ボルト

7. 機体の反対側についても同じ作業を行う。

ブラシブラケットを取り付ける

1. 18" のカッティングユニットにブラシを取り付ける場合には、ブラシの両端からそれぞれ 38 mm を切断する。
2. ブラシの左右の端部に、ブラシタブを取り付けるボルトM8 x 60 mm2 本、ワッシャ、ロックナットM8を使用する。タブは 図 7 のように組み付ける。21" のカッティングユニットに取り付ける場合には、外側の穴を使い、18" のカッティングユニットには内側の穴を使用する。

   注 ブラシの毛先には角度がついています。刈り込みを行った際に長い毛先が機械に近づくようにブラシを取り付けてください。
3. ブラシロッド取り付けブラケットを、それぞれのブラシタブに固定するフランジヘッドボルトM6 x 20 mm2 本とフランジナットM6を使用する図 7。

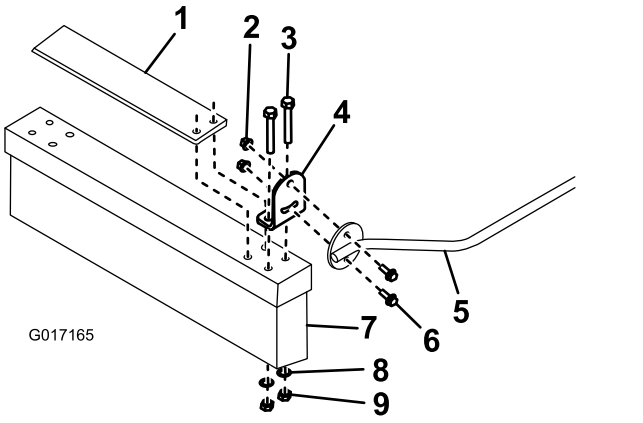


図 7

1. ブラシウェイトオプション
2. フランジナット (M6)
3. ボルトM8 x 60 mm)
4. ブラシタブ
5. ブラシロッド取り付けブラケット
6. フランジヘッドボルトM6 x 20 mm
7. ブラシ
8. ワッシャ
9. ロックナット (M8)

4. ブラシの作動高さを調整し、調整ねじで水平出しを行うすなわち、ジャムナットをゆるめ、調整ねじを回して高さを調整し、調整ができたらジャムナットを締め付ける。

   注 刈り込み中に、ブラシの毛先が芝面に対して平らに平行になっていることが必要です。もし、刈り込み作業中にブラシが跳ね上がるようでしたら、前側の毛先だけが芝面に接触し、後側の毛先は芝面から13mm以内の高さにくるようにセットしてください。
5. ブラシを使用しない場合には、上にはね上げてブラシスプリングにロッドを入れて固定しておく。